

#学食応援プロジェクト



後輩の学食利用を

ぜひ応援してください！

学食で食事提供のためになくてはならない厨房機器購入のため、出資金からの寄付にご協力をお願いいたします。

集まった寄付で以下の厨房機器の購入に充当します

大学会館食堂 返却コンベア（平成1年設置） 893万円
 大学会館食堂 給湯器（平成22年設置） 37万円
 大学会館喫茶 給湯器（平成22年設置） 37万円
 大学会館喫茶 冷凍冷蔵庫（平成20年設置） 106万円
 北福利食堂 給湯器（平成22年設置） 72万円
 北福利食堂 返却コンベア（平成6年設置） 630万円
 北福利食堂 立体炊飯器（平成19年設置） 440万円
 北福利喫茶 給湯器（平成22年設置） 37万円

自然研食堂 ガステーブル（平成17年設置） 101万円
 自然研食堂 二層シンク（平成17年設置） 37万円
 自然研食堂 給湯器（平成17年設置） 60万円
 医学食堂 炊飯器（平成26年設置） 20万円
 保健食堂 スチームコンベクションオープン
 （現、ガス式蒸し器：昭和55年設置） 373万円
 保健食堂 食器消毒器（平成8年設置） 71万円
 保健食堂 冷蔵冷凍庫（平成19年設置） 71万円

合計 2985万円

※厨房機器は耐用年数が通常10年～15年程度のため、今後も入れ替えが必要です。
そのため上記の機器購入後もいただいた寄付は厨房機器の入れ替え、修繕に充てます。

寄附方法

「出資金返還申請書」の該当欄にチェック✓をつけてください。
一口2,000円よりお願いいたします。

金大食応援プロジェクト

以下の理由から、ぜひ寄付のご協力をお願いいたします

①厨房機器はとても高額です。

前頁の通り、厨房機器は非常に高額なものが多く、生協が全てを購入するのは、とても困難です。

②金沢大学の計画的な厨房入れ替えが困難な状況です。

大学構成員の食事提供は、大学の福利厚生の一つであり、大学の本来業務です。そのため食堂の厨房機器は大学が入れ替えることになっています。この間生協から大学に計画的に入れ替えをお願いしていましたが、大学も財政状況から入れ替えが難しい状況です。

③生協の学食は赤字状況です。

2024年度の食堂・喫茶は約900万円の赤字でした。
2020年のコロナ以降食堂利用は激減し、2023年5月のコロナ5類化以降、食堂の利用者は増加傾向ですが、組合員の生活習慣の変化やキャンパス滞在時間の多様化等から、コロナ禍以前のような利用回復は望めないように思われます。仮にこのまま生協が全額を負担するようなことになると、その分を価格に転嫁せざるを得ない状況です。

これからの金大生の『食』を守っていくために

今後も、金大生協は、厳しい経営状況でも可能な限り、金沢大学で学び、研究される組合員のために学食の営業を続ける所存です。

卒業される皆様におかれましては、ぜひとも寄付のお願いの趣旨をご理解いただき、後輩組合員のためにご協力のほどよろしくお願いいたします。

皆様からの寄付の結果（集計金額及び厨房機器の購入）は、当生協ウェブサイトへの掲載をもってご報告に代えさせていただきます。



金沢大学生生活協同組合

〒920-1164 石川県金沢市角間町

TEL: 076-231-2855 MAIL: honbu@kindai-coop.or.jp

※大学生協は、寄附金控除の対象団体ではないため

今回の寄付は、確定申告時の寄附金控除（所得控除）に該当しません。